

SELENE による月高地地殻の探査：月初期進化過程理解のためのアプローチ

Exploration of the lunar highland crusts to understand the lunar early evolution

杉原 孝充 [1]

Takamitsu Sugihara[1]

[1] 海洋研究開発機構 地球深部探査センター

[1] CDEX, JAMSTEC

Apollo の時代から月の高地地殻は、月形成直後におけるマグマオーシャンの固結に伴って形成されたと考えられている。さらに 1998 年の Lunar Prospector の成果によって、月表側の中心部にマグマオーシャンの残液に関する地殻物質 (Procellarum KREEP Terrain) の発見により、月の地殻はマグマオーシャンそれ自体の情報さえも記録している可能性が示唆されてきている。

今年度、月探査衛星 SELENE がいよいよ打ち上げられる。本講演では、SELENE 統合サイエンスのテーマの一つである月高地地殻の形成と進化について、SELENE によるデータを用いて新たに理解を深めるための観測、解析計画案を議論する。そして、上記したような月の初期進化過程の理解に迫る方法を模索する。